

1 **くがにくとぅば**[黄金言葉] vol.257  
**変化に対応しながら、豊かな暮らしとは何かを考え続ける**  
株式会社大川 代表取締役社長 外間 いち子

5 **地域リレーションシップ情報** 255  
**「地域課題解決型スタートアップ支援事業」官民共創型アクセラレーションプログラムの入賞5社が決定しました!**

6 **シリーズ日本経済**  
**沖縄における若者の県外流出の実態と課題— 一人的資本の観点から—**  
沖縄国際大学 経済学部経済学科教授 (株式会社おきぎん経済研究所アドバイザー) 宮城 和宏

12 **【スポット調査】**  
**沖縄県内企業における女性活躍推進に関する調査**

30 **けいざい風水**

32 **県内景況・確報**  
2025年暦年の県内景況

40 **国内景気動向**

42 **沖縄マーケティング情報**  
①沖縄県内の事業所数・従業者数・人口・世帯数  
②世界の中の沖縄(年次)  
③グラフでみる沖縄経済  
④数値でみる沖縄県・全国の経済動向(月次)

62 **経済社会のできごと**(沖縄、国内・海外)  
2026年1月



表紙写真/ランタン祭りフェスティバル(読谷村)

## 変化に対応しながら、豊かな暮らしとは何かを考え続ける



株式会社大川

代表取締役社長 外間 いち子



米軍統治下の1961年(昭和36年)に創業し、本土家具の輸入販売を行ってきた歴史を持つなど、県民の暮らしに寄り添ってきた株式会社大川。その歴史とともに、豊かさを広げる挑戦を続けている同社の代表取締役社長 外間 いち子氏に、社名に込めた想いや事業展開などについてお話を伺いました。

### 社名に「家具」を入れず、地名である「大川」を掲げる

当社は、先々代で私の祖父にあたる外間完和(故人)が創業いたしました。創業当初は個人事業として事業をスタートさせましたが、法人化にあたり社名を「株式会社大川」とした経緯には、創業者の明確な想いがあります。

当時、日本で最も大きな家具の産地は福岡県大川市でした。先々代はこの大川市から家具を仕入れ、県民の皆さまに紹介し販売することで、家具販売業の基盤を築いてまいりました。こうした事業の立ち上げに際し、大川市の皆さまから大きなご協力をいただいたことへの感謝を込めて、社名に「大川」という地名を掲げることにしたと聞いています。



▲那覇市安里にて個人経営の家具販売業を創業

一方で、「家具」の2文字を含まない「株式会社大川」にしたのは、創業者が大切にしてい

た企業観によるものです。時代の変化とともに生活様式は変わり、店の形も変わっていきます。百貨店が元は呉服店であったように、業種や業態を変えながら企業は永続していくべきだという考えがありました。そのため、特定の事業領域にとらわれないよう、社名には「家具」を入れず、地名である「大川」を掲げたと聞いています。

### 経営理念「一人ひとりが豊かになる暮らしを共に考え、共に創り上げる」

当社の経営理念である「一人ひとりが豊かになる暮らしを共に考え、共に創り上げる」には、大きく二つの意味を込めています。第一に、「一人ひとり」という言葉を理念の冒頭に掲げている点です。当社は家具・インテリアを中心としながらも、10を超える事業・店舗形態を展開しており、事業部や店舗ごとに異なるニーズに対応しています。多様な品揃えやサービスは、県民の皆さま一人ひとりの暮らしに寄り添うための組織づくりの結果であり、この姿勢を経営理念に明確に示しています。

第二に、「共に考え、共に創り上げる」という考え方です。まずはお客様と共に、「どのような商品や空間を望むのか」を丁寧に対話し、その暮らしを具現化していくことが私たちの使命だと考えています。また、従業員同士が知恵やアイデアを持ち寄り、新たな価値を創出する

協働の姿勢も重視しています。

こうした理念を象徴するのが、名刺裏面に描かれたイラストです。道沿いに並ぶ家々の窓の奥には多様な暮らしが描かれ、当社はその一つ一つに応えていくことを目指しています。この想いこそが、私たち全社員が共有する姿勢です。



▲名刺裏面に描かれたイラスト

## 6つの事業と6つの店舗を展開

当社は今年、創業65年を迎えます。これほど長く県民の皆さまに支えていただいたことに、まずは心より感謝申し上げます。そのうえで当社が大切にしてきたのは、お客様の多様なニーズにどれだけ丁寧に応え続けられるかという一点です。そのため、当社は店舗業態の開発に力を注いでまいりました。

一般的な小売業では、一つのモデル店舗を大量展開するチェーンストア理論が効率的とされます。しかし当社はあえてその逆を選び、地域の暮らしに合わせた独自の業態を構築してきました。良いものを長く使いたい方、お得に生活を整えたい方、トレンドを重視する方など、生活スタイルは十人十色です。さらにリサイクル需要や高齢化による介護ベッド、法人向けには「頑丈な椅子がほしい」「ホテル開業のためにオリジナル家具をつくりたい」といったニーズも生まれます。こうした幅広い要望を一つの店舗形態だけで満たすことは困難であり、品揃えにも物理的な限界があります。だからこそ当社はターゲットごとにブランドや店舗タイプを細か

く分け、より深いレベルでニーズに応える体制を整えてまいりました。この取り組みこそが、お客様から評価いただいている価値につながっていると考えています。

## 大川グループ

### 家具インテリア小売事業

**THE GRACE** 笑顔を運ぶ住空間づくり  
幸せにつながるインテリア

**maxplus**  
HOME FURNISHINGS STORE  
今の暮らしに彩り豊かさ、  
楽しさをプラス

**TODAY & DECO O!K**  
今日買って、今日持ち帰って、  
今日から使える

**STARRY HOME**  
心身がリラックスできる空間を  
提案するライフスタイルショップ

### 中古家具 3R 事業 (リデュース・リユース・リサイクル)

**R.O.K. 中古品 代行販売**  
RE-USE FURNITURE ITEMS  
売る人、買う人、地球の未来  
みんなが喜ぶハッピーサイクル

### 法人向けコントラクト事業

**大川家具 BUSINESS**  
ホテル・病院・オフィス向け  
法人インテリア事業

### 福祉用具レンタル・販売事業

**介護ショップ 助さんたくさん**  
住宅改修・家具・家電まで  
サポート

### 物流事業

**happy minutes**  
大川家具グループの配送・  
訪問事業

### 社会課題解決事業

**サボンちゅ**  
OHBAWA Co., Ltd.  
不要品回収や家じまいなど  
“お困りごと解決”のプロフェッショナル!

### オンラインショップ

**大川堂** **uje likes!**

## 物流上のハンディキャップを克服

大型で重量のある家具は物流コストが高くなりがちですが、当社では独自の物流体制を構築することで、この課題に対応してまいりました。当社はまず商品を福岡の倉庫に集約し、コンテナ単位で沖縄へ輸送しています。この方式により、個別輸送に比べて物流コストを大幅に削減でき、お客様によりリーズナブルな価格で家具を提供できていると考えています。

さらに、沖縄特有の問題として配送納期の長さがあります。船便が中心となるため時間を要しますが、当社ではアウトレット事業「TODAY OK」を展開し、現品在庫をそのまま販売するEDLP（エブリデー・ロープライス）型の業態で即日持ち帰りを可能にしています。また、一定の在庫をあえて確保することで配送のリードタイムを短縮し、利便性の向上に努めています。

島嶼県である沖縄では物流上の制約が避けられませんが、その中で納期短縮を図る在庫戦略は、今後も重要な取り組みであると考えています。

## PBの展開を強化

近年、当社では全店舗でPB（プライベートブランド）の開発を強化し、オリジナル商品を含めた新商品の導入や売り場構成の刷新に取り組んでいます。その結果として来店客数はここ数年着実に増加しています。お客様に繰り返し足を運んでいただけるのは、当社の開発力や売り場づくりへの評価の表れだと考えており、今後もPBを積極的に拡大していく方針です。

インターネットの普及により、全国の同一商品の価格を容易に比較できる時代になりました。そのなかで当社が競争力を保つためには、「ここにしかない商品」を提供することが不可欠です。小売業である当社自身が主体的なものづくりに関わり、現場の知見を活かした価値を商品へ反映することこそが強みになると捉えています。

そのため商品開発には現場スタッフも参加し、日々お客様から得ている声を商品会議で共有しています。「ここを改良したほうが使いやすい」「最近はこちらのデザインが人気だ」といったリアルな情報を反映することで、独自性の高い商品を生み出すことができます。こうしたPBは当社の重要な差別化要因となり、付加価値を高め、収益を支える柱へと成長しています。

## 変化に対応しながら、豊かな暮らしとは何かを考え続ける

当社が大切にしている価値観の一つに、「時代に合わせて変わり続ける」があります。社会やお客様の価値観が変化していく中で、企業としても柔軟に対応し、新たな挑戦を続けていくことが不可欠だと考えています。

一方で、社内で長年言い継がれている言葉があります。それが「逆境こそさわやかに」です。物価が上がり、先行きが見えにくい今の時代は、まさに多くの企業にとって逆風の局面と言えるかもしれません。しかし、こうした厳しい時期こそ、新しい知恵や工夫が生まれるタイミングでもあります。次々と訪れる試練を前向きに捉え、そこから新しい価値を創り出す姿勢を大切にしたいと考えています。そのためにも、日々新しいことに向き合い、社会の動きや価値観の変化に敏感であることが重要です。

同時に、人が豊かに生きるために本当に大切なものは何か——その本質を深く考え続けることが、企業としての軸をつくと信じています。この姿勢は、私一人のものではなく、社員一人ひとりが共有すべき考え方です。全員が「変化を受け入れ、新しい価値を模索しながら、守るべきものを守る」という意識で動くことができれば、当社の経営理念は長く生き続け、企業の持続的な成長につながっていくと考えています。



## 人をつなぎ、未来を創る

今年、私たちは創業 65 年を迎えます。

沖縄に暮らすお客様、お一人おひとりの理想に寄り添いながら家具やインテリアを通して豊かな暮らしを提案してきました。地域の皆さまに支えて頂いたことに、心より感謝申し上げます。

家を、より心地の良い場所へ  
オフィスを、活気ある環境へ  
宿泊施設を、快適な空間へ

これからも、固定観念に囚われることなく  
新しい発想と挑戦を重ね、  
常に次の新しい暮らしを提案しつづけます。

人をつなぎ、未来を創り、  
一人ひとりが暮らしやすい社会を目指して参ります。

### OHKAWAグループ



#### 持続可能な暮らしを共に創る

株式会社大川では、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を事業の中で実践しています。お客様から回収した家具は再販につなげ、再利用が難しいものは解体して資材化し、資源として再活用しています。



## 官民共創型アクセラレーションプログラムの入賞5社が決定しました!

沖縄総合事務局では、沖縄の地域課題の解決を目指すとともに、スタートアップの県内への定着・成長を促すことを目的に、令和7年度沖縄型スタートアップ拠点化推進事業（地域課題解決型スタートアップ支援事業）を実施しています。

本事業の一環として、沖縄の地域課題解決に取り組むスタートアップ向けの官民共創型アクセラレーションプログラムを行い、本プログラムの最終審査会において、入賞社を決定いたしました。

### 【令和7年度沖縄型スタートアップ拠点化推進事業（地域課題解決型スタートアップ支援事業）】

沖縄は、産業の持続可能性、離島の交通・物流、医療・福祉の充実など多岐にわたる課題を有しています。こうした課題に対し、スタートアップとの官民共創で地域社会に新しい価値を生み出すことを目的に、本事業では、自治体が地域課題を発信するピッチイベントや沖縄の地域課題解決に取り組むスタートアップ向けの官民共創型アクセラレーションプログラム等の実施を通じ、地域課題を抱える自治体と技術やサービス等を有するスタートアップをマッチングし、官民共創による課題解決に向けた実証を支援する取り組みを進めています。

### 【最終審査会 最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞】

令和8年1月14日（水）に最終審査会を行いました。以下の5社が最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞に選ばれました。本最終審査会で入賞した5社のスタートアップは、自治体との実証プロジェクトのマッチングを行い、沖縄県内自治体との実証実験へと進み、当該事業を令和8年度「沖縄型スタートアップ拠点化推進事業費補助金」に申請された場合は採択審査において加点がなされます。（※令和8年度予算の成立が前提となります。）本取り組みが官民共創の気運醸成へ繋がり、沖縄県内における地域の課題解決へ資することを期待しています。



会場の様子(TOKYO VENTURE CAPITAL HUB)

アクセラレーションプログラムの詳細はこちら



#### 最優秀賞：株式会社 Every Will

人流を創出し同時に6つの社会課題を解決する  
宅配荷物の受取りサービス「トリイク」

#### 優秀賞：株式会社ベスプラ

【ICTを活用した健康増進と地域活性のまちづくり】  
持続可能な健康ポイントの実証

#### 優秀賞：Curelabo 株式会社

草木資源を活用したアップサイクル素材の提案

#### 審査員特別賞：有限会社シューコーポレーション

悪臭という課題を地域を潤す資源へ「BOリアクター」による循環型農業の共創提案

#### 審査員特別賞：FUJIYAMA BRIDGE LAB 株式会社

発達支援が必要なすべての子どもと家庭が「待たずに」支援にアクセス「みらいらぼ」

〇お問い合わせ先〇 内閣府沖縄総合事務局経済産業部企画振興課 電話：098-866-1727